



環境省シンポジウム

気候変動を踏まえた 脱炭素社会の実現に向けて

日時： 令和2年2月22日（土）14:00～16:00

会場： 石川県女性センター 1Fホール
(石川県金沢市三社町1番44号)

主催： 環境省

後援： 北陸財務局、北陸農政局、中部経済産業局、北陸地方整備局、近畿地方整備局、
北陸信越運輸局、中部運輸局、富山県・石川県・福井県市長会、富山県・福井県町村会、
石川県町長会、北陸経済連合会、富山・（一社）金沢・福井経済同友会、
富山県・石川県・（一社）福井県商工会議所連合会

資料掲載先 <http://www.env.go.jp/press/107697.html>



気候変動を踏まえた脱炭素社会の実現に向けて

本シンポジウムでは、各地域における脱炭素社会に向けた政府以外のプレーヤーの先進的な取組を共有することにより、北陸地方に豊富に賦存する再生可能エネルギー、観光資源などの様々な地域資源の活用を進めるとともに、気候変動に対して強靱な地域づくりを推進し、第五次環境基本計画において目指すべき社会像として掲げられた「**地域循環共生圏**」（地域の活力を最大限発揮し、自立・分散型の社会を形成することで、環境問題のみならず経済・社会課題の同時解決を目指すもの）の創造につなげていくことを目指します。

プログラム（予定）

14：00～14：05	主催者挨拶	環境省 環境事務次官 鎌形浩史
14：05～14：15	来賓挨拶	北陸経済連合会会長 久和進 氏 石川県金沢市長 山野之義 氏
14：15～14：20	環境省からの政策紹介	環境省 総合環境政策統括官 中井徳太郎
14：20～14：40	基調講演	「ゼロエミッション社会の構築の取り組み」 名古屋大学教授（2014年ノーベル物理学賞受賞者） 天野浩氏
14：40～15：20	事例紹介	事例① 「コンパクトシティ戦略による持続可能な付加価値創造都市 ～とやま型地域循環共生圏モデルの形成に向けて～」 富山県富山市長 森雅志 氏
		事例② 「湯野浜100年計画 ～温泉資源を有効活用した脱炭素地域づくりについて～」 湯野浜100年株式会社 取締役 / 株式会社亀や 代表取締役 阿部公和 氏
15：20～15：50	有識者による意見交換	福井県福井市長 東村新一 氏 一般社団法人中部SDGs推進センター 副代表理事 百瀬則子 氏 ファシリテーター：環境省 大臣官房環境計画課長 川又孝太郎
15：50～16：00	閉会挨拶	環境大臣 小泉進次郎